

歴史の中の美術

大原まゆみ先生の

最終講義に代えての小講演集

3月21日(日)10:00~18:00

Zoomによるオンライン配信

大原まゆみ先生は2019年度をもって、明治学院大学での学務を終えられました。大原先生の36年間の研究者および教育者としてのご業績並びにご実績を称えて、先生と縁のある8名の研究者で大原先生を囲む講演会を開催いたします。

大原先生は在職中にドイツ語圏美術史研究連絡網を立ち上げられ、一連のシンポジウム『戦争と美術』、『デューラー受容史500年』、『植物を描く/植物で描く』、『創造・伝達・記憶の場としての版画』、『ドイツ美術とプロテスタンティズム』を主催されるなど、常に第一線でドイツ語圏美術の研究を牽引されて来られました。今回の大原先生を囲むラウンドテーブル型小講演の集が、様々な領域から理論の提言や実証的各論を出し合い、研究上のヒントや出会いを得られる場となることを願っております。

主催 大原まゆみ先生のご退任を祝う会 (発起人 平川佳世、青山愛香、岩谷秋美)
京都大学文学研究科 平川佳世研究室内 〒606-8501京都市左京区吉田本町
Tel.: 090-9994-5908 / e-mail: festvortragepmo@gmail.com

写真: Leo von Klenze, Befreiungshalle (撮影: 大原まゆみ先生)

歴史の中の美術—大原まゆみ先生の最終講義に代えての小講演集

2021年3月21日(日) 10:00~18:00

主催 大原まゆみ先生のご退任を祝う会

- ◆開催方法：Zoomによるオンライン配信（視聴無料、要事前申込）
- ◆申込み先：Google フォーム <https://forms.gle/rzrm8ivvzmMJq6Xr8>
 - ・3月19日(金)までにお申し込みください。
 - ・3月20日(土)16時にZoomのURLをお送りします。

プログラム

10:00-10:10 開会の辞

第 I 部 10:10-12:10

- 10:10-10:40 ◆岩谷秋美（東京藝術大学助教）
『ハプスブルク史の中のゴシック大聖堂—権威表象の遍歴とゴシックの終焉』
- 10:40-11:10 ◆青山愛香（獨協大学教授）
『ハンス・バルドゥング・グリーンの木版画《アダムとイブ》（1519年）—ドイツ・ルネサンスの版画における「アエムラティオ」』
- 11:10-11:40 ◆平川佳世（京都大学教授）
『ドイツ人画家と銅板油彩画—アダム・エルスハイマーを中心に』
- 11:40-12:10 ◆小林頼子（金沢美術工芸大学客員教授／放送大学非常勤講師）
『‘Een ongelijke gelijckheyt’—17世紀オランダ風俗画家たちの市場戦略』

第 II 部 13:30-14:00

- 13:30-14:00 ◆保井亜弓（金沢美術工芸大学教授）
『アダム・バルチュ—版画史家として、あるいは版画家として』
- 14:00-14:30 ◆佐藤直樹（東京藝術大学准教授）
『ペーター・コルネリウスによる『ファウスト』連作について』
- 14:30-15:00 ◆野田由美意（北見工業大学教授）
『ナチス時代デュッセルドルフのアートシーン —「若きラインラント」を中心に』
- 15:00-15:30 ◆尾関幸（東京学芸大学教授）
『フーゴー・ヘリングの歴史観』

第 III 部 15:45-18:00

- 15:45-16:00 ◆大原まゆみ先生へのメッセージ
- 16:00-17:00 ◆大原まゆみ（明治学院大学名誉教授）
『バイエルン王ルートヴィヒ一世の美術館』
- 17:00-18:00 ◆ラウンドテーブル
- 18:00 ◆閉会の辞